

ルーピンの里だより

2024
上半期号

ふれあい



○表紙の案内○

福寿会も今年で開設30周年を迎えることとなりました。この節目を迎えるにあたって全職員へ30周年に相応しいロゴを募集したところ上記のロゴに決まりました。
(作成者W氏のコメント)「東串良町花のルーピンの花をモチーフに2つの大きな目で前を見据えて頑張りましょう。」



「ふれあい号」は日本財団からの寄贈車両です。



「スペーシア号」は公益財団法人JKAからの補助車両です。

目次 Contents

- ・理事長挨拶 新入職員紹介 2面
- ・従来型上半期の様子 3面
- ・ユニット型半期の様子 4面
- ・デイサービス上半期の様子 5面
- ・グループホーム上半期の様子 6面
- ・居宅・在宅介護支援事業所より 7面
- ・新事業所の紹介・行事食 8面



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

ルーピンの里は日本自転車振興会の補助物件です

介護のこれからを考える

介護保険制度が始まって二十四年が経過しました。介護保険制度は三年おきに計画や制度の詳細が変わっていきます。時代や地域の現状等に合わせて細かく調整できるようになっている良い点もあります。しかしあまりにも細かくなりすぎてわかりにくい制度になりつつあります。そこで福寿会では三十周年記念事業の一環として地域の皆さんに少しでも介護のことを知ってもらおう、また介護に興味を持ってもらうためにFMおおさきの木曜十一時から「笑顔と共に with a smile」を一年間の特別番組として放送しています。この番組では当法人の様々な職種の職員が毎週ゲスト出演しています。介護の生きた話が聞けるとともに介護の世界で頑張っている人にスポットライトを当てたい。との思いから始まっております。この世に生を受け年老いといき、必ず誰しも通ることであろう、「介護」互助共助だけで最期を迎えることはなかなか困難であります。

フォーマルサービスである介護サービスをうまく利用して、インフォーマルサービスである地域資源や家族の力などを存分に活用し「その人がその人らしく生きられる」そんな社会の実現のために社会福祉法人福寿会はこれからも努力し続けたいと考えております。

社会福祉法人福寿会 理事長 福留 利郎

新 人 職 員 紹 介



特養従来型
キン ニン テツさん
ミャンマー出身

八月からルーピンの里で働いています。平成七年九月十一日生まれの五人家族で長女です。介護福祉士を取得し、介護の先生になりたいです。



特養従来型
ティリ ミャツ ノーさん
ミャンマー出身

八月からルーピンの里で働いています。平成十二年十月十八日生まれの四人家族の末っ子です。介護福祉士を取得して日本で学んだ介護の技術を活かして介護の学校を開きたいです。



グループホーム東申良
海老原 直さん
鹿屋農業高等学校卒

介護の右も左もわからない自分に先輩方に御指導を頂きながら、日々、勉強をさせて頂いております。足手まといな部分がまだまだあると思います。これからもよろしくお願ひします。



グループホーム大崎
グエンティ キョウトウイさん
鹿児島医療技術専門学校卒

四月から大崎グループホームで働いています。鹿児島医療専門学校を卒業しました。初めて介護をするので色々分からないことが多いですが頑張りたいです。

従来型 上半期の様子

輪投げゲーム

毎日、お茶の時間の後にレクリエーションを行っています。体操・散歩や輪投げ・クイズなど利用者様に楽しんでいただくために職員が考え、日々行っています。利用者様に楽しいですかと声掛けを行うと「楽しい・たくさん動くから疲れるね」などと言われ、笑顔で参加されています。これからも楽しんで頂けるレクリエーションを考え、楽しく参加して頂きたいです。



アサガオのたね植え

五月ごろにアサガオの種を利用者様に植えていただきました。種をプランターに植える際には「きれいに花が咲くかな・楽しみだね」などと職員と会話をしながら植えられました。晴れている日にはプランターに水やりをしています。アサガオが咲いた際には「きれいに咲いているね・一緒に植えて良かった」などと笑顔でおっしゃっていました。これからもいろいろな花や野菜を植えていきたいです。



花火

七月中旬ごろに花火をしました。手持ち花火を持ち「綺麗だけど一瞬で消えたね」と笑顔で言ったり、「怖いから一緒に持ってやろうよ」と少し怖がりながら花火を持っていました。終わった後は「綺麗だったね・まだできればよかね・暑かった」などと笑顔で言っていました。



1丁目

自分達で収穫

七月はぶどうの季節です。部屋のウッドデッキに出てみると理事長が育てて下さったブドウ。ついに収穫の時期がやってきました。実際にハサミを持ち利用者様、一人一人が収穫していました。収穫したぶどうを持ち帰り早速、頂きました。「甘くておいしい。」「ちょっとすっぱい。」など、色んな声を聞くことができました。自分達で収穫したぶどうは特別に美味しく感じられて、また、ぶどうの収穫時期になったら自分達で収穫したい。と思われたみたいです。また、来年も美味しいぶどうが収穫できますように。



2丁目

願いを込めて

七月七日は七夕です。二年に一度の織姫様と彦星様が天の川で巡り合い最も輝く日と二説には言われております。私たちも願いを込めて七夕飾りを作成しました。職員が立派な笹の木を切ってきてくれたのでみんなで折り紙を折り飾りました。利用者様、職員もそれぞれに願いを込めて短冊を作り、それぞれの願い事が叶いますようにお祈りして、可愛く飾ってみました。利用者様のその笑顔に職員一同、癒されました。



3丁目

梅雨を彩る紫陽花

六月の梅雨時期に咲く紫陽花。ルーピン園内には沢山紫陽花が植えられています。

利用者様の部屋のカーテンを開けると、目の前には色鮮やかな綺麗な紫陽花が咲いています。カラフルな色が沢山あり部屋の中からも見る事が出来ます。実際に紫陽花を切り取り花瓶に入れフロアに置きました。「綺麗だね。」「素敵なか色だね。」と言われていました。紫陽花を見て季節を感じて頂けたらうれしいです。



入浴サービスについて

デイサービスでは開設時より、霧島市隼人町にある妙見温泉の源泉から湧き出る温泉水を陸送して温泉入浴サービスを提供しております。

妙見の温泉水は飲める温泉水とも知られており、質はナトリウム炭酸水素塩泉で神経痛、筋肉痛、関節痛、皮膚病、冷え症、病後回復、火傷、切り傷などに効果があり、温泉を楽しみにデイサービスにいられている利用者様もいらっしゃいます。

また、本年度は温泉水輸送バルクローリーも新たに納車されました。



福寿会三十周年記念 レッツゴーポイント引き換え事業

福寿会三十周年記念としてレッツゴーポイント引き換え事業実施中。

本事業の実施目的はデイサービス全利用者様が、通いの中で自立に繋がる出来る範囲の軽作業、残存機能を維持する為の訓練参加、自発的にレクリエーション活動に努めて頂く等自発的活動を評価するものとして、利用者様毎にポイントを付与し獲得されたポイント数に応じて多数用意された景品を自ら選択し交換する取り組みです。

ご利用者の皆様からも大好評です。



福寿会三十周年記念ラジオ番組 「With a smile 笑顔とともに」へ出演

八月の毎週木曜日午前十一時から
はデイサービスセンターにて福寿会
三十周年記念ラジオ番組
「With a smile 笑顔とともに」を担
当致しました。

最終週は、デイサービス利用者である岡元様のゲスト出演により、生のハーモニカ演奏と詩集を披露して頂く予定にあり、他の利用者の皆さんも大変楽しみにしておりましたが台風十号接近により、残念ながら音声録音での参加となりました。
改めて、ご出演をお願いします。



各グループホーム 上半期の様子



グループホーム東串良

毎年たくさん実る、すももが色よく食べ頃になったので、天気の良い日に日光浴もかねて利用者様に採ってもらいました。その後利用者様と一緒に磨いて調理してジャムにしてあります。朝のヨーグルトに添えたり、お誕生日ケーキにサンドしたりジュースの炭酸割りなど様々な料理や飲み物の名脇役です。季節を感じていただく機会を作っています。

すももを使った創作料理



グループホーム大崎

大崎町で最高齢者！一〇八歳のお誕生日を迎えられました。お孫さんもケーキを持ってお祝いに駆けつけられました。そのケーキに自身の顔が描かれていたことに「私や？」と不思議そうな表情をされしばらく見入っておられました。お孫さんや他の利用者様から拍手で「おめでとう」と言われると「ありがとうございます」と満面の笑みで喜んでおられました。これからも元気で私たちに笑顔を見せて下さいね。

最高齢者一〇八歳の誕生日会

グループホームすまいる



コロナ禍ですつと外出を自粛していましたが約三年ぶりに自宅へお帰りになられることができました。住み馴れたご自宅へ着くと、自然に笑顔が見られ短時間ではありましたが、楽しいひと時をお過ごしになりました。今後ともご家族協力を得ながら、感染予防に努め外出の機会を増やして行きたいと思えます。

三年ぶりの外出

居宅介護支援事業所より

権利擁護とは 簡単にどんなこと？

契約や手続きに困っている

何書いてあるのか分からない

難しくひとりではできない



お金のやりくり・管理が不安

年金の受取りや支払いができない

通帳やお金の管理に不安がある

信頼できるところに預けたい



地域の気になる方が心配

悪徳業者などから認知症の

方を守りたい



自分の未来が心配

身寄りがいないので将来が心

配。いざという時に備えたい



子どもの生活が心配

親なき後の財産管理

子どもの世話ができなくなった時

子どもの生活を守りたい



権利擁護とは、高齢者をはじめとする支援が必要な人たちの権利や尊厳を守り、その人らしい生活を支えることを指します。アドボカシーとも呼ばれ、本人の意思を尊重しながら、福祉サービスの利用や生活環境の改善などを通じて、自立した生活を送れるよう支援することが目的です。

この考え方は、日本国憲法で保障された基本的人権を具体化するものです。憲法第13条では、すべて国民は個人として尊重され、幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、最大の尊重を必要とすると定められています。権利擁護は、私たち一人ひとりが持つかけがえのない人権を守り、その人らしい生活を支えるための取り組みなのです。

詳しくは、厚生労働省HPをご参照ください。

在宅介護支援センターより

四月から在宅介護支援センターと居宅介護支援事業所に異動して、半年が経ちました。初めは右も左もわからず、上司や先輩、地域の方などたくさんの方に協力して頂いて、今、やっと少し気持ち的に余裕を感じられるようになりました。新しい環境新しい業務内容で戸惑いもありましたが、すぐくやりがいを感じる事が出来ています。もっと勉強して、経験を積んで早く一人前の生活支援コーディネーター、ケアマネージャーになれるように頑張ります。



坂口 志織



新事業所の紹介

四月一日に坂元内科クリニックより譲渡されましたグループホームるーぴんのさとへすまいるです。専門的な知識を身につけた職員が二十四時間三百六十五日住み慣れた地域で、馴染みのある生活を提供いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



栄養課より行事食

【父の日のメニュー】
年齢、男女問わず、みんな大好きなオムライス。エビフライにハンバーグ。ナポリタンを添えて。



【七夕メニュー】
干し椎茸をもどし、その御出汁でそうめんのトッピングを炊きました。ご飯は雑穀入り。白身魚のみぞれを添えて。



【敬老の日メニュー】
お刺身は、食べやすい大きさにカットし、ご飯は栗入りお赤飯。お煮しめとフキの煮物。果物を添えて。



編集後記

今年度初めてのルーピンの里だより「ふれあい」の発行となります。ご利用様がレクリエーションやイベントを楽しまれている様子や、日常生活での様子をできる限りお伝えできればと思います。今年度はこのメンバーで一丸となってルーピンの里の情報を発信させて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

広報委員…濱田、前原、長谷川、児島、西窪、山之内、黒田、楠元、久保

福寿会の事業所

- 介護老人福祉施設
- 訪問介護事業
- 短期入所生活介護事業
- グループホームるーぴんのさと
- 通所介護事業
- <東串良><大崎><すまいる>
- 居宅介護支援事業
- 東串良町在宅介護支援センター

広報誌「ふれあい」はホームページでもご覧になれます。 <http://ru-pin.jp>